株式会社レゾナック・セラミックス横浜工場

安全活動の取り組みについて

株式会社レゾナック・セラミックス横浜工場

2025年 9 月 3 日

ご紹介の内容

RESONAC

1. 企業の紹介

2. 安全の取り組み

①安全の規範・方針
②安全活動計画

3. 安全活動

①安全意識の取り組み
②ルール順守の取り組み
③作業での安全確保の取り組み
④知識の習得と災害事例活用の取り組み
⑤コミュニケーションの取り組み

©Resonac Corporation All Rights Reserved.

RESONAC

1. 企業の紹介

2. 安全の取り組み

①安全の規範・方針
②安全活動計画

3. 安全活動

①安全意識の取り組み
②ルール順守の取り組み
③作業での安全確保の取り組み
④知識の習得と災害事例活用の取り組み
⑤コミュニケーションの取り組み

©Resonac Corporation All Rights Reserved.

RESONAC

株式会社レゾナック・セラミックス

化学の力で社会課題を解決、共創を通じて持続的社会に 貢献するレゾナック・セラミックス

塩尻工場

塩尻工場は、
四季折々の姿を見せる
日本アルプスを臨み、
日本海に注ぐ千曲川の
最大支流である犀川の
源流の地にあります。

富山工場

富山工場は、
豊かな海の幸に
恵まれた富山湾に面し、
後ろに立山連峰を臨む
富山平野にあります。

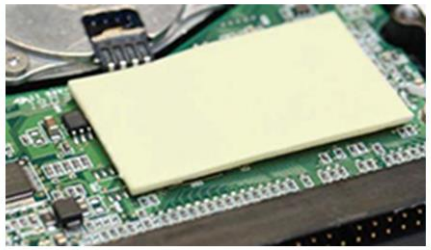
横浜工場

横浜工場は、
東京湾を含む自然環境と、
機能性に優れた
ビジネス空間が共存する
環境未来都市にあります。

研削材

溶射材

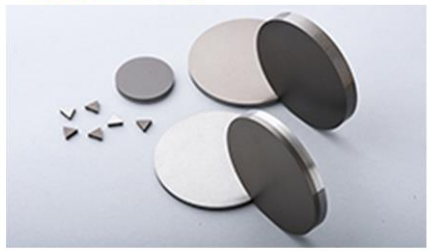
放熱材料



ガラス用研磨材

電融機能材・耐火材

切削工具材

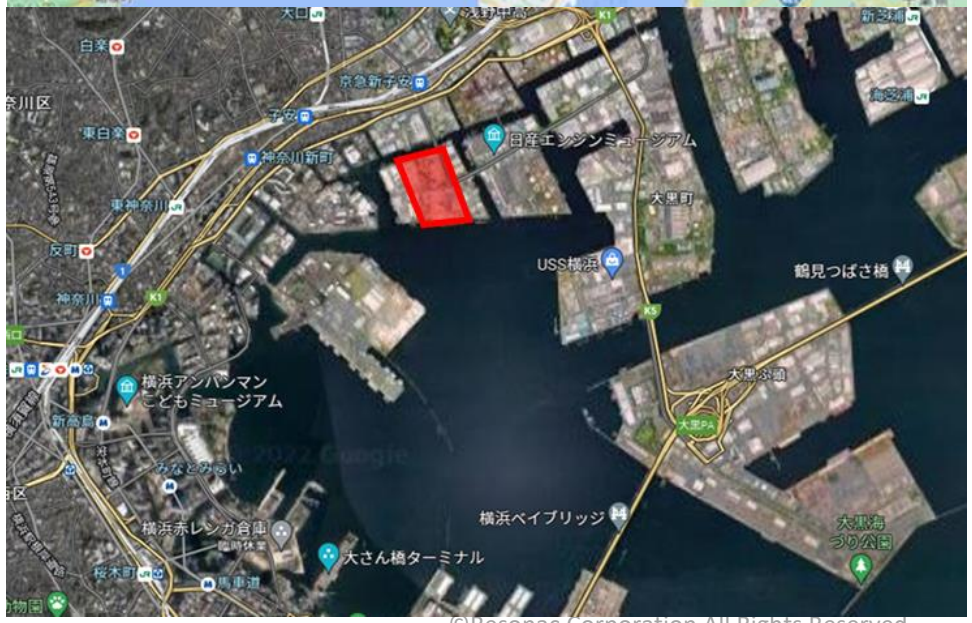


©Resonac Corporation All Rights Reserved.

RESONAC

工場の概要

横　浜　事　業　所　概　要		
■	事業所名	株式会社レゾナック・セラミックス横浜工場 株式会社レゾナック　横浜事業所
■	所在地	〒221-8517　横浜市神奈川区恵比須町８番地
■	創業	１９３３（昭和８）年
■	主要製品	アルミナ



沿革

- ■1933年　日本アルミナ工業所設立（アルミナ生産開始)
- ■1939年　昭和電工㈱設立
- ■1958年　水酸化アルミ市販開始
- ■1985年　電解用アルミナ生産中止
- ■2014年　バイヤー工程停止（9月）
- ■2015年　昭和電工セラミックス㈱横浜工場設立（10月）
- ■2018年　工場敷地再開発　（集約・撤去工事）
- ■2020年　研究施設 共創の舞台建設開始　2022/6竣工
- ■2023年　株式会社レゾナック・セラミックス横浜工場

©Resonac Corporation All Rights Reserved.

RESONAC

生産プロセス

アルミナの可能性に挑み続ける

高温熱処理技術

高温熱処理が可能なトンネルキルンで化学的、物理的反応を行うことで粒子形状、結晶径をコントロールした多様なフィラーを製造できます

表面処理技術

フィラーの配合や各種樹脂に合わせた表面処理の技術により、樹脂への充填性が高いフィラーを提供できます

粉砕・分級技術

長年培ってきた粉砕・分級技術により、多様な粒径、分布を持つフィラーを製造することができ、最適な粒度設計を可能とします

近年、エレクトロニクスを始めとする先端産業、より心地よい暮らしを実現する生活産業、その他幾多の分野にアルミナの用途は多彩な広がりを見せています。横浜工場ではこれまで培ってきた豊富な経験と実績を活かし、お客様のニーズに応えていきます。

©Resonac Corporation All Rights Reserved.

2． 安全の取り組み

1. 企業の紹介

2. 安全の取り組み

①安全の規範・方針
②安全活動計画

3. 安全活動

①安全意識の取り組み
②ルール順守の取り組み
③作業での安全確保の取り組み
④知識の習得と災害事例活用の取り組み
⑤コミュニケーションの取り組み

©Resonac Corporation All Rights Reserved.

２．安全の取り組み　①安全の規範・方針

RESONAC

レゾナックグループは、「安全は全てに優先する」を掲げ、グループに関係する全ての人が出勤して仕事を始めたときと同じ状態で帰宅することが最も大切だと考えています。

規範－１ **安全意識**	**私たちは、安全を最優先で行動します。** (1) 自分が事故災害を発生させない、仲間も事故災害に遭わせないよう行動します。 (2) 自らが事故災害ゼロは達成できるとの強い信念を持ち安全活動に積極的に参加します。 (3) Ｓ（安全・健康）＞＞Ｑ（品質）・Ｄ（納期）・Ｃ（コスト）を強く意識します。
規範－２ **ルール遵守**	**私たちは、事故災害を未然に防止するために関係法令、ルールを遵守します。** (1) 作業手順等のルールや上司の指示を良く理解し遵守します。 (2) 作業手順等の内容が分らないまま勝手な解釈をして作業・操作はしません。 (3) 作業手順等の内容に分からないところがあれば、分かるまで上司に確認します。
規範－３ **作業での安全確保**	**私たちは、業務ごとに定められた手順に従い、安全な作業を実施します。** (1)「安全行動１０則」（別紙－1）を安全行動の基本として実践することで事故や 災害をゼロにします。 (2) 常に作業を行う上で考えられる危険を想定し、安全に作業を行います。 (3) 危険要因を掘り起こし（リスクの抽出）、積極的に改善案を提案します。 (4) 危険要因箇所は、事故災害の未然・再発防止のために協働し改善します。
規範－４ **知識の習得と災害事例活用**	**私たちは、安全に関する知識と技能の習得に努め、より安全な作業を実践します。** (1) 教育・訓練・ＫＹＴ及び安全衛生諸活動に積極的に参加し、危険に対する気づきと感度の 向上を図ります。 (2) 事故災害事例を活用し自分ごととして職場の類似事故災害を未然に防止します。
規範－５ **コミュニケーション**	**私たちは、健全で活発なコミュニケーションをとり安全・安心な職場づくりに努めます。** (1) 健全な状態を保持するよう健康管理に努めます。 (2) 相手への思いやりをもって意見を伝え、相手の意見も謙虚に受け止めます。 (3) 率先して明るいあいさつ・声かけをします。

©Resonac Corporation All Rights Reserved.

2．安全の取り組み　①安全の規範・方針

RESONAC

レゾナックグループ 方針

RESONAC

安全衛生保安環境方針

レゾナックグループは、「経営理念」に則り、「安全衛生」、「保安防災」、「環境」に関し、最優先事項として以下に取り組み、グループの持続的な成長と、持続可能な社会の実現に貢献します。

1. 「安全とコンプライアンスは全てに優先する」ことを全従業員が共有し、行動します。
2. 適用法令や方針、基準等を理解し遵守します。
3. 不安全行動・不安全状態を排除し、自身と働く仲間を事故・災害から守ります。
4. 安全操業、保安防災管理を推進し、従業員と公共の安全を確保します。
5. 汚染予防、環境負荷の低減等に取組み、持続可能な循環型社会の実現を目指します。
6. グループ環境安全管理システムに基づいて、リスクを管理し、システムを継続的に改善して、労働安全衛生保安環境管理の水準の向上を目指します。

２０２５年１月１日
株式会社レゾナック
CMEO　新保 尚文
新保 尚文

レゾナック・セラミックス 方針

RESONAC
Chemistry for Change

安 全 衛 生 方 針

基本理念

株式会社レゾナック・セラミックスは、「人と環境を守り、持続可能な成長を実現する企業」として、安全・安心を最優先に考え、誰もが健康で働きがいのある職場環境の構築を目指します。

そのために、一人ひとりが安全・健康への高い意識を持ち、自律的かつ協働的に安全衛生活動に取り組むことで、企業の成長と社会への貢献を実現します。

行動指針

1. **安全文化の醸成**
   全員参加で安全教育と現場改善を進め、事故ゼロを実現する。
2. **健康経営の推進**
   心身の健康と心理的安全性を守り、働きやすい職場をつくる。
3. **デジタル技術の活用**
   DX 技術を活用し、安全管理の高度化と業務効率を向上させる。
4. **法令遵守とリスク管理**
   法令を守り、化学物質の管理と健康・環境への影響を防止する。
5. **継続的改善と透明性**
   安全活動を継続的に見直し、成果を社内外に共有する。

この安全衛生方針を全社員に周知して安全意識の向上を図ると共に、社外に公表する。

目指す姿
「安全はすべてに優先する」全員で力をあわせ、安心して働ける職場をつくります。

２０２５ 年　１月　６日
株式会社レゾナック・セラミックス
取締役社長　高橋 直也

横浜工場 方針

2025 年 REC 横浜事業所・RCE 横浜工場方針

変革を全員で進めて
新しい効率的な工場へリニューアル
～ 個人とチームと RCE の知見の融合 ～

1．セラワンチームでの協業/リソース活用/ベストプラクティス導入

（1）災害・コンプライアンス・品質・環境・設備トラブルゼロの達成
- SCP 活動及びトラブル事例からの改善実行

（2）業務改革の推進
- DX 推進による業務効率化（デジタイゼーションの推進）
- 業務改革と仕組みの改善

2．収益性の強化

（1）棚卸資産回転日数の維持・改善（2025 年末 156 日）
- 中期販売計画を基にした年末棚卸資産回転管理レベル向上と達成

（2）コストダウン案件の深掘と施策の推進
- コストダウン提案と顕現（10M¥）
- 発想転換によるコストダウンアイデアの発掘

3．人財育成と SDGs 推進

（1）人財育成（共育）の推進
- キャリアプラン深掘と個人計画の展開
- 働き方改革と健康経営の促進

（2）SDGs の推進
- 「できることを確実にやる」SDGs 活動の実行

©Resonac Corporation All Rights Reserved.

RESONAC

安全行動目標（レゾナックグループ）

目標（達成したい状態）	課題	施策（活動内容）	進捗状況調査の指標（KPI）
相互啓発型安全文化の醸成	トップマネジメントによる安全へのフェルトリーダーシップの発揮	管理者自らが「安全最優先」を行動で示す ・ビジネスユニット（BU）長 安全メッセージの発信、安全投資実施 ・事業所長・関係会社社長 安全講話等の実施、安全投資優先順位付けと実行 ・管理者 SCPの実施（SCP未実施事業場は安全巡視を実施）	–
	安全活動への参画機会の創出	・安全宣言の展開・実施 ・安全行動規範読み合わせ ・事業場の課題に応じた施策の設定と実施 （2022年安全意識調査結果を考慮すること）	–
法令、規則等違反ゼロ	法令、規則等知識の習得	教育の実施 有資格者の充足	–
	順守義務の特定と順守	順守すべき法令・方針・基準の特定と順守 （新規/変更、法改正への適切な対応）	–
労働災害ゼロ	不安全行動の防止	安全教育の実施 ①墜落・事故防止：輸送協力企業に対するトラック荷台関連の安全教育実施 ②トラブル処置時の災害防止 トラブル発生時の対応手順及び事前安全確認の徹底 作業前危険予知（KY）の実施 危険予知訓練（KYT）の実施 ①事業所のリスクに応じた体感型安全教育の実施 ②ＳＣＰ活動の推進 ヒヤリ・ハット（ニアミス）の抽出とフォローアップの実施	①輸送協力企業に対する安全教育 （輸送協力企業数に対する実施率） ②作業手順に基づく安全教育実施 （実施回数） – KYTへの参加延べ人数（人数） ②SCP認定率（認定者数／対象者数） ケガしそうになった実体験報告数への対応率（対応数／報告数）。 ※報告数と対応数のデータ進捗調査対象
	不安全状態の改善	労災リスク評価に基づく許容できない労災リスクの低減対策の実施	低減したリスクランク件数
		作業手順書の整備 ・作業手順書がない作業の手順書の作成。 ・作業手順書の記載不備の見直し。（指差し呼称ポイントの追記、禁止事項・順守事項・着用すべき保護具等の明記）	–
	作業環境の改善	作業環境改善対策の実施（作業環境測定結果にもとづき管理区分の改善が必要な場合）	作業環境測定にもとづく管理区分の改善数 （特化物、有機溶剤、粉じん） ・作業環境管理区分Ⅲ撲滅 ・作業環境管理区分Ⅱの改善 （騒音） ・作業環境管理区分Ⅲ撲滅 ・作業環境管理区分Ⅱの改善
	安全基準の整備	作業（作業と化学物質取扱い）のリスクアセスメント手法の統一	「リスクアセスメント要領（労働安全衛生編）（化学物質編）」での評価への移行
設備事故ゼロ	設備事故予防と緩和措置	・過去の事故からの教訓や展開視点を参考にして管理状況の確認	–
	・火災リスク低減	・火災・漏洩などの事故リスクの高い設備、作業の抽出	
	・漏洩事故防止	・異常発生時の環境安全保安等管理部門、外部関係者(監督官庁等)への通報連絡手順の整備と訓練の実施	
	設備事故リスク低減	・設備リスク評価に基づく設備事故リスクの低減対策の実施 （※リスクランクの許容の度合いは事業場ルールに従う） ・「リスクアセスメント要領（プロセス編）」の周知と理解（国内先行展開）	低減したリスクランク件数
環境事故ゼロ	環境事故予防と緩和措置	・非定常時(工事・停電・豪雨・異常時等)の敷地外への漏洩リスク管理 ・漏洩等発生を想定した事業場外への影響確認の準備 ・異常発生時の環境安全保安等管理部門、外部関係者(監督官庁・近隣等)への通報連絡手順の整備と訓練の実施 ・環境管理チェックリストの周知と理解	–
	環境リスクの低減	・環境リスク評価に基づく環境事故リスクの低減対策の実施 （※リスクランクの許容の度合いは事業場ルールに従う） ・「リスクアセスメント要領（プロセス編）」の周知と理解（国内先行展開）	低減したリスクランク件数
ReSHEM要求事項に沿った事業場の環境安全管理システム構築	ReSHEM要求事項に基づいたマネジメントシステムの構築と運用	ReSHEM要求事項に基づいた事業場規程類の制定と実施 重点テーマ： ①リスクと機会の管理(第９条)・ハザードの同定とリスクの評価(第10条) ②変更管理(第17条)	チェックリストによる適合(システムの構築)状況の確認

©Resonac Corporation All Rights Reserved.

2．安全活動　② 安全活動の計画

RESONAC

横浜工場RC行動計画

２０２４年度 ＲＣ行動計画

項目	行　動　計　画	1月	2月	3月	実績コメント	4月	5月	6月	実績コメント	7月	8月	9月	実績コメント	10月	11月	12月	実績コメント	達成度
ＲＣ	クライシス対応 横浜地区全体の防災訓練実施（実践的訓練）（共通） ISOマネジメントシステムの活用による継続的改善の推進 法定資格取得状況の確認と選任状況確認、各職場年間教育計画作成 法令、規制等改正情報の周知展開（本社、社外からの情報等）	著しい 環境側面抽出案 法定資格確認依頼 ●	著しい環境側面取りまとめ○⇒ ●	環境管理委員会で承認済 工場内法定資格選任状況確認見 ●	１月末に見直し依頼（２月に実行課題） ２月末までに、職場ごと環境影響評価を実施 安全衛生委員会にて報告（水濁法） 安環ネット情報をメールにて情報配信	規程見直し及び周知 ISO審査 ● 職長教育案内○→５月で実施 ● 案件発生時	横浜地区緊急連絡網訓練 ● 5/29、30 ● 案件発生時	● 案件発生時	5/25緊急連絡訓練実施 4/2～5日 （対応済み） Webで実施：２名受講（１名は協力企業）	計画 ○ ● ● 案件発生時	内部監査計画 ● エネ管● 電験● ● 案件発生時	実施/反省会 ○ RCE３工場_内部監査説明会 ● 案件発生時	１０月に実施で計画 7月：内部監査重点項目検討・計画立案 8月：2024年横浜工場内部監査説明資料作成・特別教育については、労安協の案内に沿って適宜受講	● 10/29 内部監査 ● 公害防止管理者試験● ● 案件発生時	内部監査 ● ● 案件発生時	RCE３工場_マネジメントレ ● 案件発生時	内部監査は、一部１２月に実施 12/6　３工場合同マネジメントレビュー実施 公害防止管理試験受検者無し 安環ネットの情報など周知	3 3 3 3 3
安全	安全意識の向上 安全週間準備月間及び本週間行事の実施 外部視点の活用によるリスク抽出と改善機会の創出 セーフティーモーメント（セーフティートーク）の事業所展開（workplaceを活用し発信） 保安管理体制維持・向上	● 1/9	● 2/5	● 3/4	3/28環境管理委員会で著し環境側面報告	● 4/1	計画作成● ● 5/20	安全週間準備月間 ● ６／3	・６月は準備月間行事を実施 （ビラ配り、各種教育、安全標語募集、危険体感	安全週間 ● ● 7/1	● 8/19	● 9/5		● 10/8 全社保安防災週間●	● 11/5	年末年始無災害運動 ● 12/2	年末年始無災害運動：ポスター掲示による啓発実施	3 3 3
防災	許容できない設備事故リスクの低減対策の実施 トラブル未然防止活動（横浜４件以上／月） 防火管理体制の維持・向上 自衛消防訓練（横浜） 衛生管理体制の維持・向上	●	● ●	● ●	2/21神奈川防火防災協会常任理事会 3/18.19自衛消防業務新規講習受講：１名	対象案件有無確 ● ● 操法訓練 ●	⇒ ● ● 放水訓練 ●	● ● 放水訓練 ●	・非常用用発電機更新 （第三工場MC消火栓ポンプ起動用） 4/25令和6年度神奈川防火防災協会総会 5/22神奈川防火防災協会主催の消防訓練会	● 自衛消防組織訓練	● 放水訓練 ●	● 放水訓練 ●		● 放水訓練 ●	●	● 低減対策実施 ●		3 3 3 3
衛生	労働衛生週間準備月間及び本週間行事の実施 衛生教育の実施 粉じん・騒音・熱中症対策の充実 作業場３Ｓの実施 環境負荷・環境リスクの低減（環境活動の優先順位付け）	●	●	●		●	●	● ●	熱中症予防教育	●	8/22 行事内容配信 ●	衛生週間準備月間 ● ●	衛生週間準備月間行事 ・3S活動、換気扇の点検、粉じん清掃 WBGT計更新、周知 ９月騒音について啓発実施 衛生週間準備月間行事として実施	衛生週間 ● ●	●	● ●	12月のSPCにて、検査の騒音作業を巡視	3 3 3 3
環境	排水溝・雨水溝の適切な管理 環境問題の抽出と対策（環境管理委員会）　　原則１回／月 環境調査 緑地の適正な管理運用（総務） 化学物質管理	● 1/23 自主点検 ●	（適宜） ● 2/27 自主点検 ●	● 3/26 自主点検 ●		● 4/22 自主点検 ●	（適宜） ● 5/28 自主点検 ●	● 6/25 自主点検 ●		● 7/23 自主点検 ●	（適宜） ● 8/27 自主点検 ●	● 10/1 自主点検 ●		● 10/22 自主点検 ●	（適宜） ● 11/26 緑地教育 ⇐●	● 12/24 自主点検 ●	１０月　工場立地法に関わり教育実施（緑地教育）	3 3 3
化学物質	①化学物質管理委員会の開催 *人体に及ぼす作用／5年毎(2024～) 定期確認・変更都度更新 *内容更新確認／３年毎（2024～） ①化審法　一般化学物質製造数量報告（事業所・RCEに区分） ①Resonac化管部主催化学物質管理教育の受講（化学物質管理者・化学物質管理委員ほか） 地域活動の充実		**逐次対応**	第１回　化学物質管理委員会開		**集計** ●	**集計** ● **逐次対応**●	第２回　化学物質管理員会開催 報告 ○	化学物質果然管理委員に対し、化審法に関する教育を実施(資料&動	届出　7/23 ●	**逐次対応**	第３回　化学物質管理員会開催		**SDS最新版取得・見直し**	**逐次対応**	第４回　化学物質管理員会開催	化学物質管理委員会　基本付議事項は別紙のとおり 横浜は独自で実施	3 3 3 3
健康管理	コンプライアンス強化月間 定期クリーン活動への参加 ※毎月第3水曜朝/9月指定日 地域外部団体及び加入団体会議への参加、行政との連携 一水会　原則偶数月第一水曜　（横浜） （１）横浜健康経営認証に根ざした活動	● A職CLデー ●1/17 工業会	● A職CLデー ●2/19 テロ災害	● A職CLデー ●3/22 京浜	1/17 神奈川工業会賀詞交歓会2/19 神奈川警察	● A職CLデー ●4/19 工水	● A職CLデー 神奈川安全運転管理者会総会 ●5/8 労安協	● A職CLデー ●6/17 工業会	5/8労安協北支部定時総会・役員会 4/19 工業用水財政研究会4/26 安全運転管理者	● A職CLデー 京浜臨海部活性化協議会総会 ●7/25 京浜	● ●	● マナー違反	８月石災法自衛防災組織技能コンテスト見学 7/25 京浜臨海部活性化協議会理事会総会８月石	● ● A職CLデー ●10/17 区防災	● A職CLデー	● A職CLデー	１０月企業倫理月間での教育実施 個人ごと誓約書提出 10/17 神奈川区臨海部防災協議会	3 3 3 3
人材育成	②-1　ウォーキングイベント（歩け歩け） ②-1　ウォーキングイベント（帰宅ウォーキング） ②-2　運動情報の発信 ②-3　エクササイズ ①OASIS活動の継続	動画配信●1/5 下半身の筋力 ●	○→（仮） ヨガ ●	●3/9　歩 歩（春）　54 動画配信●3/5 首の可動性 ●3/14 ﾎﾜｲﾄﾃﾞｰ　ﾖｶﾞ ●	ウォーキングイベント欄を3つに分類した	○（仮）→ 帰宅WC ~~○（仮）~~ ~~ヨガ~~ ●	●/5/30　19名参加　浦 動画配信○ 肩の可動性 ●	~~○（仮）~~ ~~ヨガ~~ ●	塩尻主催ヨガの予定は無く変更	~~○（仮）~~ ~~帰宅WC~~ 動画配信○ 上体の筋力 ●	●	動画配信○ 股関節の可動性 ●		×　→→ ~~○（仮）~~ ~~ヨガ~~ ●	●11/30 歩歩（秋） ●11/6　10名参加　宝町・ 動画配信○ 上半身と下半身 ●	←○ 歩歩（秋） ●		3 3 3 3 3
ＣＳＲ	②AHA!（Awards of Harmony） ③事業所表彰 能力開発計画作成と実行／振り返りによる、個々人のスキルアップと、所属長／会社による支援 人財育成課題の検討、立案、実行。自己啓発支援申請審査 （１）新規程体系に基づく品質情報・文書の管理体制強化	（－）	○→ ｴﾝﾄﾘｰ ○ 計画見直し （－）	→● エントリー →● キャリアプラン ●	MBOフォロー（３月）	○4/22 表彰式 （－）	→→→ （－）	→→→ ●	事業所表彰審査（６月）	→● 7/1 （－）	中間 ｺﾐｶｯｼｮﾝ （－）	● 一次選考会 ●	検査Ｔ選出 期ずれ開催 AHA１次選考（９月）	（－）	● 二次選考会 （－）	●	アセスメント	3 2 3 3
品質	②RCE３工場による品質規程の統合活動 ①出荷基準（社内基準）の最適化 ③品質傾向管理情報の発信（1回/週） ④solidSでの傾向管理への移行	計画 発生毎 ● 検討開始	依頼 発生毎 ● ●	● 発生毎 ● ●	営業管理規程 実績5件 2月　品質特性4項目追加 3月　品質特性4項目追加	発生毎	発生毎	発生毎	決裁用アプリの準備が完了 実績7件 日立HS21によるシステム設定は7~8月	発生毎 テスト運用開始	発生毎 本運用	発生毎		発生毎	発生毎	発生毎		3 3 3 3

©Resonac Corporation All Rights Reserved.

2． 安全の取り組み

1. 企業の紹介

2. 安全の取り組み

①安全の規範・方針
②安全活動計画

3. 安全活動

①安全意識の取り組み
②ルール順守の取り組み
③作業での安全確保の取り組み
④知識の習得と災害事例活用の取り組み
⑤コミュニケーションの取り組み

©Resonac Corporation All Rights Reserved.

RESONAC

安全行動規範

レゾナックグループは、「安全は全てに優先する」を掲げ、グループに関係する全ての人が出勤して仕事を始めたときと同じ状態で帰宅することが最も大切だと考えています。

規範－１ **安全意識**	**私たちは、安全を最優先で行動します。** (1) 自分が事故災害を発生させない、仲間も事故災害に遭わせないよう行動します。 (2) 自らが事故災害ゼロは達成できるとの強い信念を持ち安全活動に積極的に参加します。 (3) Ｓ（安全･健康）＞＞Ｑ（品質）・Ｄ（納期）・Ｃ（コスト）を強く意識します。
規範－２ **ルール遵守**	**私たちは、事故災害を未然に防止するために関係法令、ルールを遵守します。** (1) 作業手順等のルールや上司の指示を良く理解し遵守します。 (2) 作業手順等の内容が分らないまま勝手な解釈をして作業･操作はしません。 (3) 作業手順等の内容に分からないところがあれば、分かるまで上司に確認します。
規範－３ **作業での安全確保**	**私たちは、業務ごとに定められた手順に従い、安全な作業を実施します。** (1)「安全行動１０則」（別紙－1）を安全行動の基本として実践することで事故や 災害をゼロにします。 (2) 常に作業を行う上で考えられる危険を想定し、安全に作業を行います。 (3) 危険要因を掘り起こし（リスクの抽出）、積極的に改善案を提案します。 (4) 危険要因箇所は、事故災害の未然･再発防止のために協働し改善します。
規範－４ **知識の習得と災害事例活用**	**私たちは、安全に関する知識と技能の習得に努め、より安全な作業を実践します。** (1) 教育･訓練･ＫＹＴ及び安全衛生諸活動に積極的に参加し、危険に対する気づきと感度の 向上を図ります。 (2) 事故災害事例を活用し自分ごととして職場の類似事故災害を未然に防止します。
規範－５ **コミュニケーション**	**私たちは、健全で活発なコミュニケーションをとり安全･安心な職場づくりに努めます。** (1) 健全な状態を保持するよう健康管理に努めます。 (2) 相手への思いやりをもって意見を伝え、相手の意見も謙虚に受け止めます。 (3) 率先して明るいあいさつ･声かけをします。

©Resonac Corporation All Rights Reserved.

RESONAC

近年の取り組み事例

規範－１ 安全意識	私たちは、安全を最優先で行動します。 ● 体感型教育への参加 ● ヒヤリハット報告の活用
規範－２ ルール遵守	私たちは、事故災害を未然に防止するために関係法令、ルールを遵守します。 ● 化学物資の管理 ● 守るべきルールの周知
規範－３ 作業での安全確保	私たちは、業務ごとに定められた手順に従い、安全な作業を実施します。 ● リスク低減対策　事例１ ● リスク低減対策　事例２
規範－４ 知識の習得と災害事例活用	私たちは、安全に関する知識と技能の習得に努め、より安全な作業を実践します。 ● 危険予知トレーニング ● 災害事例の活用
規範－５ コミュニケーション	私たちは、健全で活発なコミュニケーションをとり安全・安心な職場づくりに努めます。 ● 場内協力企業とのコミュニケーション ● セイフティーコミュニケーションプログラム

©Resonac Corporation All Rights Reserved.

RESONAC

規範１ 安全意識

規範１． 私たちは、安全を最優先で行動します。

RESONAC

（1） 自分が事故災害を発生させない、仲間も事故災害に遭わせないよう行動します。
（2） 自らが事故災害ゼロは達成できるとの強い信念を持ち安全活動に積極的に参加します。
（3） S（安全・健康）＞＞Q（品質）・D（納期）・C（コスト）を強く意識します。

レゾナックグループでは、軽微な災害も含めると約130件/年の労働災害が発生しております。

図１ ハインリッヒの法則

災害区分
- 死亡
- 休業
- 不休
- 微傷
- 軽微

©Resonac Corporation All Rights Reserved. 4

紹介事例

体感型教育への参加

- 安全意識や危険感受性を養うための安全活動

ヒヤリハット報告の活用

- 危険個所の改善や危険の共有

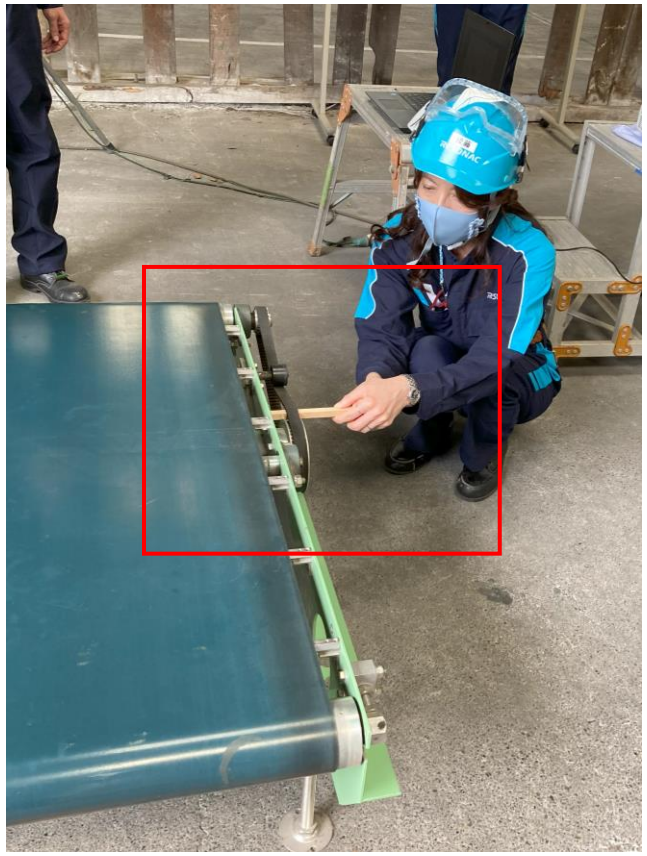
©Resonac Corporation All Rights Reserved.

RESONAC

安全意識　体感型教育への参加

自前で作成した設備を使い、挟まれ・巻き込まれの危険体感

- 開催日：2024年6月
- 参加者：約50名



©Resonac Corporation All Rights Reserved.

RESONAC

安全意識　体感型教育への参加

神奈川消防署による指導で、水消火器を使用した訓練を実施

- 開催日：2024年10月
- 参加者：約30名

©Resonac Corporation All Rights Reserved.

RESONAC

安全意識　ヒヤリハット報告の活用

事例：転倒、躓きのヒヤリ提案に対して、路面の凸凹補修を実施して段差改善

ヒヤリ体験報告書

件　名	事務所玄関付近のデコボコ
ヒヤリした内容　（マンガを活用） 事務所棟に入ろうと玄関に向かって歩いている際に、地面の凸凹に足をとられ、バランスを崩して転倒しそうになった。 ここ	
原因と思われること ・　足元をよく見ていなかった。 ・　進行方向などの関係で、足の縦方向半分程度が凸凹にはまり、バランス崩しやすい体制であった。	
今後の対策 ・　足元に注意して、凸凹を踏まない様に歩く ・　職場で凸凹があり、ヒヤリとしたことを共有した 対　策　実施済み・必要・不要	
上司コメント　対　策　実施済み・必要・不要・危険リストに追加　・その他（　）	
玄関近くでの凸凹でのヒヤリ提案ありがとうございます。この場所は、外部からご来場される方も通るルートになりますので、総務グループに情報を共有化して凸凹解消等の検討を依頼するようにします。	

- **従業員、協力企業：１件/月の提出**
- **ヒヤリハット情報を工場全体で共有**

before

after

©Resonac Corporation All Rights Reserved.

安全意識　ヒヤリハット報告の活用

相互注意活動への展開

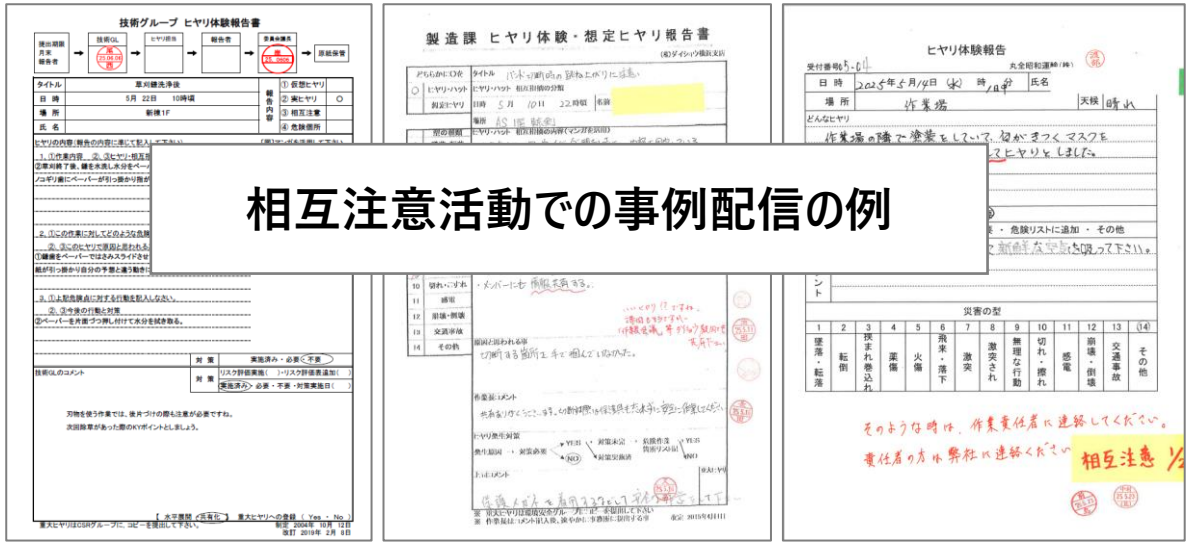
各位

ご安全に

5 月度の相互注意事例を送付します。
職場での共有をお願いいたします。

教育記録の提出は不要ですが、
職場安全衛生委員会の議事録に共有化した日にちを記載してください。

以上、よろしくお願い申し上げます。



重大ヒヤリ事例の共有

2025 年　3 月 5 日
環境安全衛生Ｔ

自転車の通行に関するヒヤリの共有

ご安全に！

場内で自転車に関するヒヤリがありましたので、共有いたします。
本件に関しては、交通事故につながりかねない事案です。全員が安全に場内を通行していただくため、職場でヒヤリ報告の共有と A-１１構内交通規則の“２．２ 自転車”の項について、再度読み合わせをお願いします。

ヒ ヤ リ 報 告

場所 ： 第３工場の十字路
内容 ： 第３工場の十字路付近で、事務所側から来た自転車が十字路手前にある止まれを無視して直進していた。

今回のヒヤリ報告の場所以外でも、止まれ表示のある場所や見通しが悪場所では、自転車に限らず一旦停止して、左右の安全確認をしてから通行するようにしてください。
もし、停止線が薄くて見づらいような箇所があれば、情報をご提供ください。
なお、今後も自転車のルールが守られていない状況が散見される場合は、場内での自転車の利用を禁止することも検討せざるを得なくなります。ルールを順守した自転車の利用をお願いします。

©Resonac Corporation All Rights Reserved.

RESONAC

規範２ ルール遵守

規範2. 私たちは、事故災害を未然に防止するために
関係法令、ルールを遵守します。

RESONAC

（1） 作業手順等のルールや上司の指示を良く理解し遵守します。
（2） 作業手順等の内容が分らないまま勝手な解釈をして作業・操作はしません。
（3） 作業手順等の内容に分からないところがあれば、分かるまで上司に確認します。

表１ 労働安全衛生関係法令の構成　法律　政令　省令

- 労働基準法
- 労働安全衛生法
  - 労働安全衛生法施行令
    - 労働安全衛生規則
    - ボイラー及び圧力容器安全規則
    - クレーン等安全規則
    - ゴンドラ安全規則
    - 有機溶剤中毒予防規則
    - 鉛中毒予防規則
    - 四アルキル鉛中毒予防規則
    - 特定化学物質障害予防規則
    - 高気圧作業安全衛生規則
    - 電離放射線障害防止規則
    - 酸素欠乏症等防止規則
    - 事務所衛生基準規則
    - 粉じん障害防止規則
    - 石綿障害予防規則
    - 機械等検定規則
- じん肺法
- 作業環境測定法

安全衛生管理上守らなければならないことは、法律で決まられているだけでなく、社内の規則として会社、事業場、職場の規則また規則という名前がついていなくても、基準、順守事項、禁止事項などさまざまな形で決められています。

©Resonac Corporation All Rights Reserved. 5

紹介事例

化学物資の管理

- 法令に沿った対応

守るべきルールの周知

- 安全教育

©Resonac Corporation All Rights Reserved.

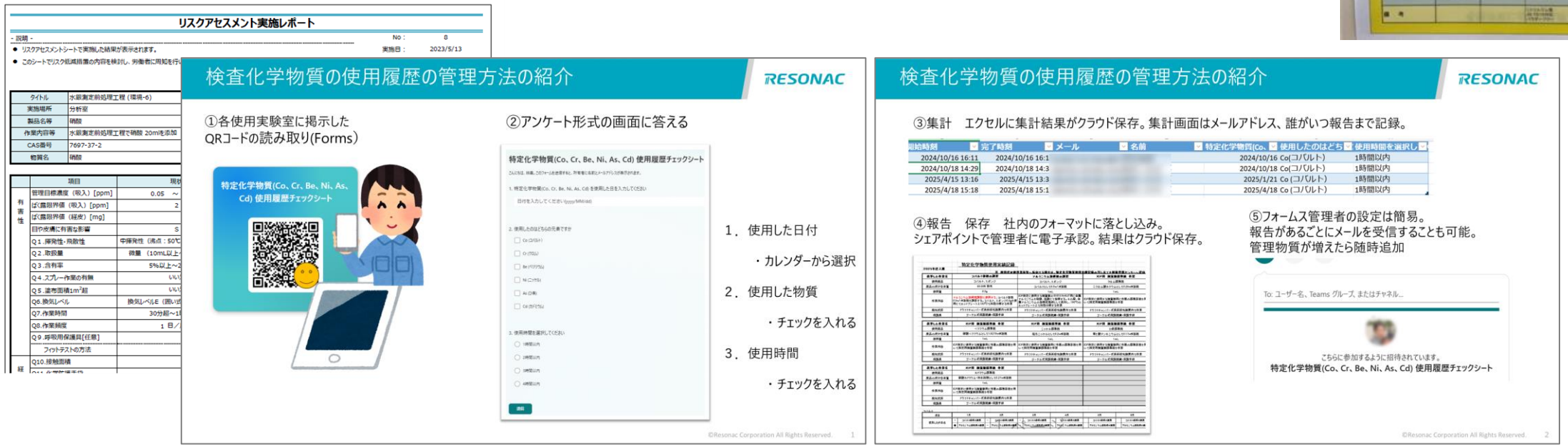
RESONAC

ルール順守　化学物資の管理

薬品の取り扱い・管理の徹底

- 着用保護具の徹底
  使用する保護具を明確にするため、作業場所ごとの着用保護具を表示

- 薬品の取扱い管理の徹底
  Formsを使い、薬品を使用した際に、取扱い場所でQRを読み込み申請を行う仕組みで運用
  - ➢ 使用時に、作業者本人が申告ができるので、申告忘れ防止
  - ➢ 取扱い情報をクラウドで保管すため、管理者の把握と記録の保存が簡便



©Resonac Corporation All Rights Reserved.

RESONAC

ルール順守　守るべきルールの周知

ニーズに合わせた安全教育　（腰痛予防教育）

- 実施日：2023年6月

教育内容

1、腰痛はこんな時に起きている

・職場や日常生活で腰痛の起因となる、さまざまな要因について

2、職場における腰痛予防対策

・腰痛予防のポイントについて

3、体を動かして腰痛を予防しよう

・腰痛を防ぐための、ストレッチなどについて

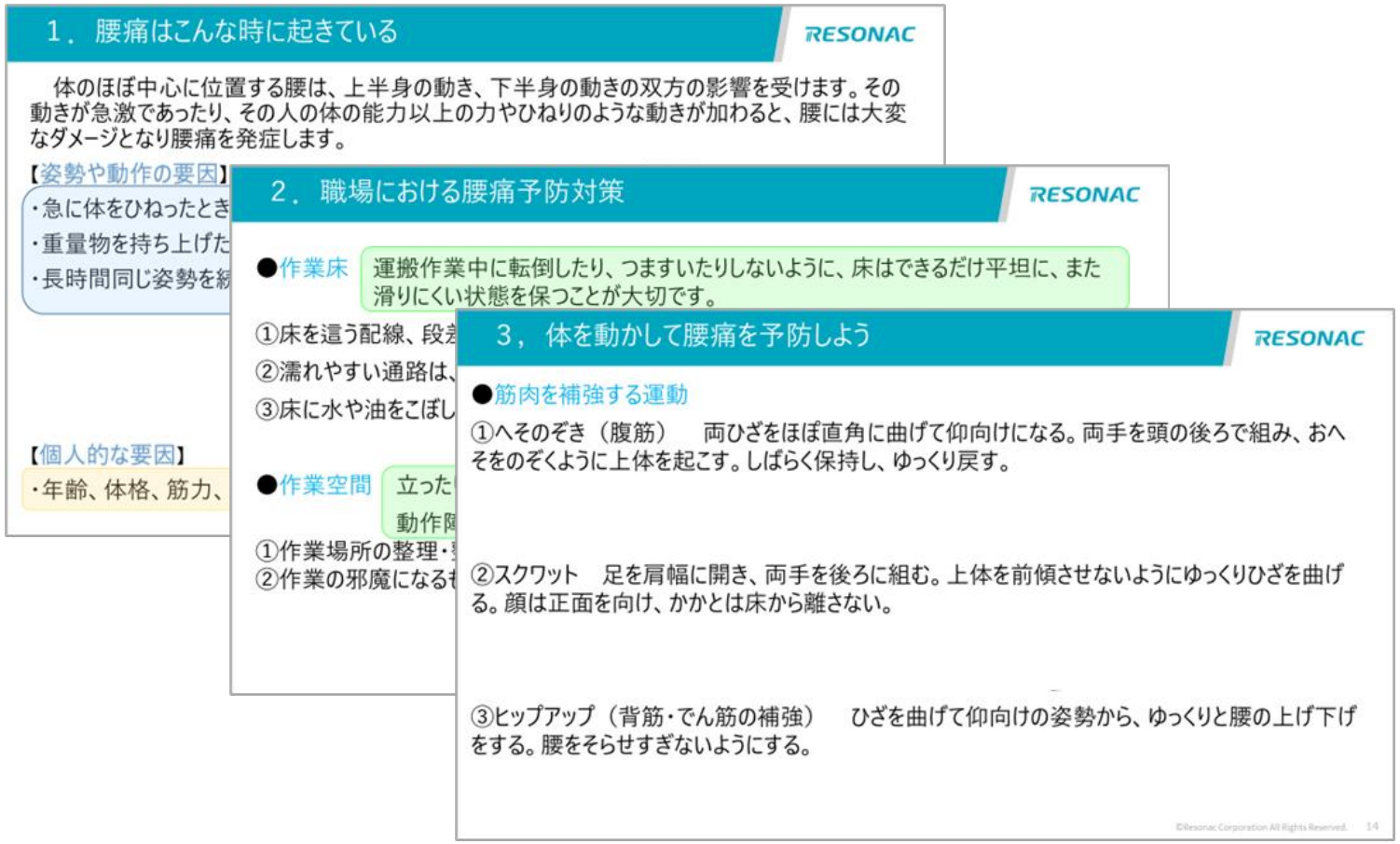
（参考）

1、腰痛の主な原因

・腰痛の原因となる病気について

2、腰痛を防ぐ日常生活での注意と工夫

・日常生活での注意点について



©Resonac Corporation All Rights Reserved.

RESONAC

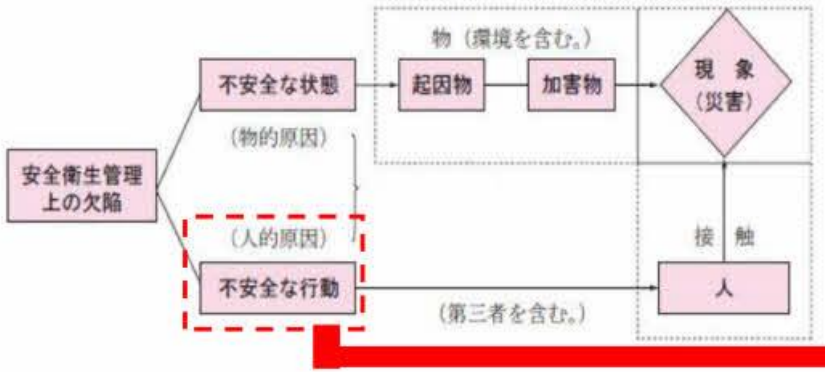
規範３ 作業での安全確保

規範３．私たちは、業務ごとに定められた手順に従い、安全な作業を実施します。

RESONAC

（1）「安全行動10則」を安全行動の基本として実践することで事故や災害をゼロにします。
（2）常に作業を行う上で考えられる危険を想定し、安全に作業を行います。
（3）危険要因を掘り起こし（リスクの抽出）、積極的に改善案を提案します。
（4）危険要因箇所は、事故災害の未然・再発防止のために協働し改善します。

図2 災害発生のメカニズム



不安全な状態のワースト5
1位：作業方法の欠陥
2位：作業環境の欠陥
3位：物自体の欠陥
4位：防護措置・安全装置の欠陥
5位：保護具・服装等の欠陥

不安全な行動のワースト5
1位：確認しないで次の行動をする
2位：間違った動作（操作）
3位：不注意
4位：保護具の欠陥（未着用含む）
5位：不安全な放置

RESONAC Chemistry for Change

「安全は全てに優先する」

私たちは、「安全行動10則」を安全行動の基本として実践することで事故や災害をゼロにします。

安 全 行 動 10 則

1. 危険予知と指差し呼称を徹底します
2. 作業と操作は手順を守ります
3. 異常時はただちに上司へ報告します
4. 動いている機械や設備などには手を出しません
5. 機械設備・安全装置は必ず点検します
6. 決められた保護具を着用し工具・機材を正しく使います
7. 高圧ガス・危険物・有害物と電気は正しく取扱います
8. 荷物の運搬・保管は決められた積み方・重量を守ります
9. 共同作業は合図を決め、互いの声掛けで確認します
10. 職場はいつも整理・整頓・清掃し清潔を保ちます

「安全行動10則」に説明については、規範の最後に致します。

©Resonac Corporation All Rights Reserved. 6

紹介事例

リスク低減対策　事例１、２

- 災害の発生させないため、危険要因を掘り起こし、リスク低減のための改善を実施

©Resonac Corporation All Rights Reserved.

RESONAC

作業での安全確保　リスク低減対策　事例１

- 挟まれ・巻き込まれの可能性がある箇所の抽出

  ⇒ 工場長に現地で説明

  ⇒ リスクアセスメントの実施

  ３８件のリスク抽出。内３１件のポンプ類への巻き込まれは安全対策費で一括対応

before

after

©Resonac Corporation All Rights Reserved.

RESONAC

作業での安全確保　リスク低減対策　事例２

切れ・こすれ災害の防止のため、カッターの使用を改善

3．『カッター災害撲滅活動』展開の主旨と目標

RESONAC

＜本活動の主旨＞

・「繰り返し発生している災害の再発防止対策を徹底的にやりきる」「この災害はなくす」ことに取り組みます。
　なくす**ターゲットは「カッター災害」**です。

・「ゼロ災は当たり前ではなく、活動あってのゼロ災であること」を経験します。

・『カッター災害撲滅活動』を通じて、**災害防止対策を徹底的にやりきる風土を形成**し、レゾナックグループの目標であるゼロ災達成への足掛かりとします。

＜本活動の目標＞

・**「繰り返し発生している災害の再発防止対策を徹底的にやりきる」**

・**「カッター取り扱い作業」に焦点を当て、今後「カッター災害のゼロ災」を達成する**

4．活動の進め方

RESONAC

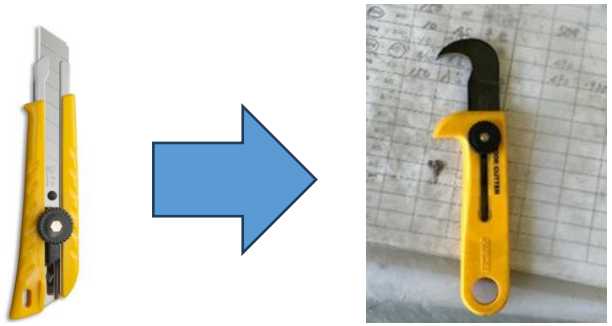
今回の活動は、下記のような手順（①から⑦）で進めます。
各々の活動内容および注意点を次頁以降に記載しましたので、本内容に沿って活動を行ってください。

①カッター作業の棚卸 → ②管理者による作業確認 → ③リスク評価 → ④カッター使用廃止の検討 → ⑤カッターの種類、作業方法改善の検討 → ⑥管理的対策の実施 → ⑦対策後のリスク評価

活動の結果については、所定の報告用紙（別紙②）にて報告をお願いします。

①カッター取り扱い作業の棚卸			②管理者による作業内容の確認	③リスクの評価	④カッター使用廃止の検討				⑤カッターの種類、作業方法の改善の検討
職場名	作業名	作業内容	実施の場合○を記入	リスクレベルを記入	カッター取り扱いの廃止の可／不可	左記（G列）、可の場合の対応策	左記（G列）、可の場合の実施計画日	左記（G列）、不可の場合の理由	改善内容
横浜生産管理チーム	用紙切断作業	A4用紙をメモ用紙にする際半分に切断する	○	4/4	可	裁断機＆ハサミを使用	2023年9月予定		
環境安全	梱包材解放作業	封筒開けるときにカッターを使用している	○	4/4	可	ハサミを使用する	2023年8月		
環境安全	梱包材解放作業	郵送物の段ボールを開けるときに使用している	○	4/4	可	長谷川刃物の「段ボールのこ　ダンちゃん」を使用する。	2023年8月		
検査・分析U	掲示用ボードカット作業	青色掲示用ボードを切断する際、カッターを用いて作業する	○	4/4	不可	－	－	カッター以外では対応が困難	切創防止保護具及び切創防止治具購入する
		緩衝材で保護されている							

抽出件数　　：１０７ 作業
変更可能作業：　　５８ 件



変更が出来ない作業は、耐切創手袋の使用などで、切れ・こすれ災害を予防

©Resonac Corporation All Rights Reserved.

RESONAC

規範４ 知識の習得と災害事例活用

規範４． 私たちは、安全に関する知識と技能の習得に努め、より安全な作業を実践します。

RESONAC

４ 私たちは、安全に関する知識と技能の習得に努め、より安全な作業を実践します。
（1） 教育・訓練・KYT及び安全衛生諸活動に積極的に参加し、危険に対する気づきと感度の向上を図ります。
（2） 事故災害事例を活用し自分ごととして職場の類似事故災害を未然に防止します。

■安全に関する知識と技能の取得
・KYT（危険予知訓練）
・リスクアセスメント手法
・機械安全
・化学物質管理
・安全衛生関連法令・安全配慮義務
・専門技能の取得（免許、技能講習、特別教育）

■能力向上教育（労働安全衛生法第19条の2）
1.教育対象者：安全管理者、衛生管理者、安全衛生推進者、衛生推進者、作業主任者、元方安全衛生管理者、店社安全衛生管理者、その他の安全衛生業務従事者
2.種類：[1] 初任時教育　初めてその業務に従事することになったとき
[2] 定期教育　その業務に従事して後一定期間ごと
[3] 随時教育　事業場において機械設備等に大幅な変更があったとき
3.教育内容
[1] 初任時教育　当該業務に関する全般的な事項
[2] 定期教育及び随時教育
労働災害の動向、社会経済情勢、事業場における職場の変化等に対応した事項

©Resonac Corporation All Rights Reserved. 7

紹介事例

危険予知トレーニング
- 危険に対する気づきと感度を高めるためる

災害事例の活用
- 類似災害の防止及び安全対策の再確認

©Resonac Corporation All Rights Reserved.

RESONAC

知識の習得と災害事例活用　危険予知トレーニング

KY 4 ラウンド法で、職場ごとの危険予知トレーニングを実施

- 2024年　4回
- テーマ

２月：脚立での作業

５月：薬品の取り扱い

８月：換気扇の点検

１１月：ロッカーの移動

危険予知トレーニングをしてみましょう！！

ＫＹシートを活用し、それぞれ職場・個人でどんな危険点が潜んでいるか、自分ならどうするか等、話し合ってください。

【 ＫＹＴシート 『脚立での作業』 】

あなたは、脚立に上がって配管のフランジ部の増し締めをしています。
この時、どんな危険点が潜んで居るでしょう？

進めかた

① 危ないと思う箇所に印をつけてみましょう
② どの様な危険が潜んでいるか考えてみましょう
　＊何がどう成るから、どの様な災害が（事故・怪我）起こるのか？
③ どうすれば事故に遭わないが考えてみましょう

KYT レポート

所属長	責任者

職場名（課・グループ・職場・企業）　：　機械グループ

責任者　：

選定した題材　：　脚立での作業

第１ラウンド《どんな危険が潜んでいるか》潜在危険を発見・予知し、危険要因をその要因によってひきおこされる現象を想定する。
第２ラウンド《これが危険のポイントだ》発見した危険のうち重要危険に○印。
さらに絞り込んで、特に重要と思われる危険のポイントに◎印。

○◎	№　危険要因と現象（事故の型）を想定して〔～なので～になる〕というように書く
○	1　ゴーグル・安全眼鏡未着用なので、漏洩した時に被液する。
◎	2　脚立使用して不安定な状態で作業を実施しているので、バランスを崩し転倒する。
	3　顔の目の前で工具を使用しているので、工具が外れる又は空振りした際、工具が顔にぶつかる
	4　片側工具使用しているので、スパナが外れたら後方に転倒する。
○	5　脚立では不安定なので、転倒する
	6　液抜き・脱圧が出来ているか不明なので、漏洩時被液する。（作業内容伝達不良時）
	7

第３ラウンド《あなたならどうする》危険のポイント◎印を解決するための具体策で即実行可能な対策を考える。
第４ラウンド《私たちはこうする》重点実施項目を絞り込み※印。さらにそれを実践するためのチーム行動目標を設定する。

◎印の№	※印	№具体策	ブレーンストーミングの４原則
2	※1	適切な作業床（足場等）を設置して、作業を行う。	1.批判禁止 2.自由奔放 3.大量生産 4.便乗効果
	2	脚立使用時は、必ず２人（１人は脚立支持者）で作業を行う	
	3	安全帯を着用・使用し作業を行う。	
	4	脚立が低いので、高さに見合った脚立を使用する。	
	5		

チーム行動目標 〔～を～して～しよう〕	作業内容を確認し、作業に見合った仮設物（足場又は立馬）と工具を選定して安全作業を実施しよう。
〔確認〕 ワンポイント指差呼称項目	作業体勢は良いか。ヨシ！

©Resonac Corporation All Rights Reserved.

RESONAC

知識の習得と災害事例活用　災害事例の活用

安全カレンダーの発行

6月度　安全カレンダー

横浜工場

従業員	休業災害

発生日時	1981（S56）年6月7日（日）16時40分	発生場所	3工程9号洗浄シックナー下
負傷者所属・年齢　歳	第1製造課・42歳	被災内容	右手第2第3指関節部位切断

災害発生状況

《5W1H、箇条書きで》

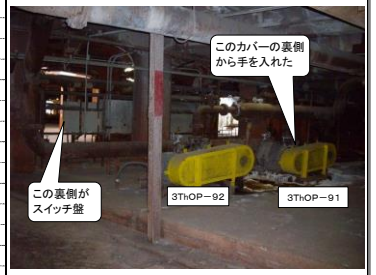
① 6月6日に他の洗浄シックナーの上液ポンプに回転不良のポンプが発見された。

② 6月7日、被災者は、停止中のポンプを起動させるために、スイッチ盤で3ThOP－91のポンプが稼動していることを確認した。

③ 被災者は、ポンプ起動の前にVベルトを手廻しして回転に問題ないか確認するために、ポンプの傍に来た。

④ 被災者は、ポンプの傍に来た段階で運転中のポンプ（3ThOP－91）を停止中のポンプ（3ThOP－92）と勘違いして、運転中のポンプ（3ThOP－91）のVベルトに触れた為、右手を捲き込まれて

被災状況図



・ ベルトカバーを付けた状態でのベルト手廻しを禁止した （作業標準の改定）
・ ベルトカバーに機番の記入及び運転中であることが分かる標識を設置する

＜配信案内＞

６月の安全カレンダーを配信します。
今月の安全カレンダーは、１９８１年に発生した、
ポンプのVベルトに手を巻き込まれ、指を切断された災害です。

この災害の発生原因のひとつに、思い込みによる確認不足があげられます。
指差呼称による安全確認を心掛けてみてください。
また、安全行動１０則「動いている機械や設備などには手を出しません」を徹底してください。

12月度安全カレンダー

従業員		不休災害

発生日時	1972（S47）年12月12日（火）17時15分	発生場所	第一警備所前歩行者通路
負傷者所属・年齢　歳	アルミナ（現第一製造）課　21歳	被災内容	右肘関節部打撲傷、右腹部打撲傷

災害発生状況　《5W1H、箇条書きで》

①被災者は、アルミナCCR（現第一製造課中央管理室）に戻るため、公道の歩道を渡って第一警備所前に来た。

②第一警備所前の通路（歩行者用）で滑って転倒した。
・被災者は走っていた。
・通路の路面は雨で濡れていた。

被災状況図

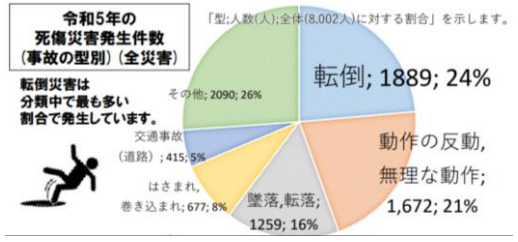
（災害報告書を元に状況を再現した写真）

＜ この災害から得られた情報 ＞

原　　因	対　　策
①場内を走った。（A－11－2場内交通規程ルール違反）「２．１　歩行者（５）緊急の時以外は走らない」	①場内は走らないことを徹底
②雨で路面が濡れて滑り易いことを意識しないで行動した。	②慌てないで行動することを徹底
③KY不足	③KYの徹底

補足

以下の図は、神奈川労働局が発行しているリーフレットからの抜粋です。
神奈川労働局管内では、転倒による労働災害がもっと多く、注意が必要な労働災害の一つです。



1月度　安全カレンダー

レゾナック・セラミックス横浜工場

従業員	微傷災害

発生日時	2012年　2月　6日　1時　30分頃	発生場所	AWICA-902（導電率計）　検出タンク下部。
負傷者所属・年齢　歳	第一製造課　4R班　21歳　（男性）	被災内容	左手背第2度熱傷

災害発生状況

《5W1H、箇条書きで》

①被災者は1時00分AWICA-902警報多発の為、現場に確認に行く。

②被災者は警報が入るのは、検出タンクに液がない為と判断し、検出タンクの真上にあるAドレン補給バルブの開度を調整した。

③1時30分被災者は再度現地確認の為、AWICA-902検出箇所に行く。その際、検出タンクよりAドレンがオーバーしている為、先ほど開けたAドレン補給バルブを絞ろうとしたところ、検出タンクからオーバーしていたAドレンが左手のゴム手と作業着の間にかかり受傷する。（左手首　6cm×5cm程度の範囲で水ほう状態。他にも水ほう有り。）

④受傷後、被災者はすぐに上司に報告する。受傷箇所を流水にて1時間程度冷却後、救急車にて病院に行く。

被災状況図

用語の解説欄　＜簡単明瞭に＞

1）Aドレン：ボイラー発生蒸気が熱交換器で凝縮したもので、加熱に用いた後、ボイラーに戻す。（但し、ここの場合は、ドレン槽に送る。）通常時50℃、受傷時は70℃～80℃程度と思われる。

・AWICA-902警報誤指示
→検出端部異物有り

やけどの応急処置

速やかに冷やすこと。

やけどをしたら、冷たい水ですぐに冷やします。

衣服を着ている部分にやけどを負った場合は、

衣服を着たまま流水で冷やします。

無理に衣服を脱ごうとすると、やけど部分の皮膚も一緒にはがれてしまう可能性があります。

水ぶくれができた場合の処置

水ぶくれができるのは、2度熱傷の場合です。

水ぶくれは、やけどの傷口を保護する役割があるので破れないように気をつけます。

水ぶくれが破けてしまった場合は、病院での診察を受けます。

放っておくと感染（ばい菌が入る）恐れがあり、治りにくくなります。

やけどが深い場合は、すぐに冷やして、医療機関（形成外科や皮膚科）を受診し、処置してもらいましょう。

顔も深い3度熱傷は、水ぶくれができずに、皮膚が白くなったり、黒く焦げたりしていて、痛みも感じなくなっています。

手術が必要な場合もあるので、痛みがなかったり、軽傷に見えても病院を受診することをおすすめします。

やけどの部位別冷やし方

手足：水道水を出しっぱなしにして冷やします。

顔や頭：シャワーなどで水をかけ続けます。流水がかけられない部分は、氷水で冷やしたタオルを当てます。

目や耳：保冷剤や氷を包んだ冷たいタオルをこまめに替えて冷やします。

全身やけど広範囲：水をためた浴槽の中につけたり水に浸したタオルなどで身体を包むようにして冷まします。、

冷やすとどんな効果が？

● やけどの深さが進行するのを止めることができます。

● やけど跡が残りにくくなります。

● やけどの痛みに対しても効果があります。

※ 氷や氷のうを直接患部にあてると、皮膚が冷えすぎて、凍傷を起こすことがあるので注意します。

※ 全身を冷たい水で冷やすと、低温症になる場合があるので、体温が下がりすぎないよう様子を見ながら行います。

©Resonac Corporation All Rights Reserved.

RESONAC

規範５コミュニケーション

規範５．私たちは、健全で活発なコミュニケーションをとり安全・安心な職場づくりに努めます。

RESONAC

５　私たちは、健全で活発なコミュニケーションをとり安全・安心な職場づくりに努めます。
（1）健全な状態を保持するよう健康管理に努めます。
（2）相手への思いやりをもって意見を伝え、相手の意見も謙虚に受け止めます。
（3）率先して明るいあいさつ・声かけをします。

出勤したときや職場を離れるときなど、職場の上司・先輩や仲間にきちんと挨拶をしましょう。あいさつは、職場で一緒に働いているということを伝えるとてもいい方法で、仕事を進めるためのコミュニケーションの第一歩です。
他部門の人や仕事を分担してもらっている他の会社等の人に対しても同じです。
みなさんからのあいさつをすることによって円滑な仕事につながります。「安全はあいさつから」とも言われています。

©Resonac Corporation All Rights Reserved. 8

紹介事例

場内協力企業とのコミュニケーション

セイフティーコミュニケーションプログラム（SCP）

- 健全で活発なコミュニケーションにより、机上では見えない危険源を抽出して、安全な職場への改善を図る

©Resonac Corporation All Rights Reserved.

RESONAC

コミュニケーション　場内協力企業とのコミュニケーション

安全対話により相互コミュニケーションの実施

- 協力企業安全大会の開催
- 協力企業代表者会議（毎月）
- 安全衛生診断（２回/年）
- 所管部門での連絡会
- 新規入構者への安全教育

協力企業安全大会（2025年1月7日）

©Resonac Corporation All Rights Reserved.

RESONAC

コミュニケーション　セイフティーコミュニケーションプログラム

事業所安全巡視をパトロール時にコミュニケーションを重視した巡視スタイルに改革

2-1 巡視者の心構え

RESONAC

指摘を目的としない安全巡視

指摘ではなく安全行動の推奨や対話を目的とすることで、巡視する側とされる側が協力して「より良い職場を作るため、安全意識を高めるための交流の場」にしていくことが重要です。

Point

① 安全に作業を行っていることを認めて褒める

↓

② 引き続き安全作業をするよう動機付ける

↓

③ 信頼関係を構築する

作業者から「やりづらい作業」「危険な作業」「トラブルが多い設備」などのネガティブな情報も得られやすくなります。

しかしながら、放置すると事故が発生する恐れがある危険な作業や、法令やルール無視を発見したら、黙認せずすぐに作業を中止させて本人に理由を聞くようにします。

©Resonac Corporation All Rights Reserved. 8

©Resonac Corporation All Rights Reserved.

RESONAC

コミュニケーション　セイフティーコミュニケーションプログラム

事業所安全巡視をパトロール時にコミュニケーションを重視した巡視スタイルに改革

2-2 効果的な巡視を行うために

RESONAC

1) 観察対象を明確に

巡視の効果を高めるため、巡視の目的、ポイントを意識して観察を行いましょう。

巡視テーマ
「ありがとう」
「困りごと発掘」
「慣れている作業・いつもの設備風景」でも違うかも
「重篤災害未然防止」
「不安全認知」
「楽に効率的に」

2) 観察は広い角度で

- あら探し的な態度や方法は避け、まずはよい点を探して褒めるように心がけましょう。
- 改善によって職場が少しでも良くなるように、もっといい方法はないか様々な視点から観察するようにしましょう。
- 不安全な状態が発見された場合は、他の同種の設備についても同様の問題がないかチェックをしましょう

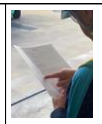
©Resonac Corporation All Rights Reserved. 9

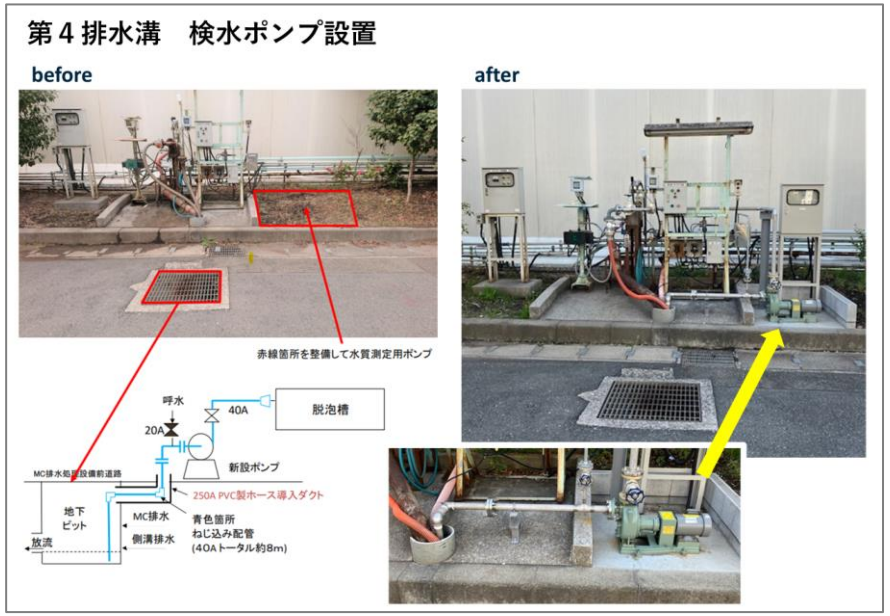
©Resonac Corporation All Rights Reserved.

RESONAC

コミュニケーション　セイフティーコミュニケーションプログラム

事業所安全巡視：グッドポイントなども記載し結果を事業場安全衛生委員会で共有

内容		職場コメント
説明・コメント	（写真など）	
GoodPoint👆 非定常作業シートの運用がさていました。 3か月に一度の作業なのでマニュアル化をあえてせず非定常作業シートで事前共有して作業している。		今後も継続します。
GoodPoint👆 危険予知を行い作業がされています。 バンを開ける際の作業者の作業位置（内部のものが落ちてきても巻き込まれないようにドアに隠れつつ慎重に開けている）		今後も継続します。
GoodPoint👆 ロープの切断に専用の治具が用いられていました。過去災害の水平展		
袋のバラ積み貨物のデバンであり人手で対応するしかない作業となっ		
バラ積み袋で上の方に積んであるものが落ちてきて作業員にあたるリ （作業を見る限りでは非常に配慮していたが）		
１バッグは10袋なので約20kg、上の方から受けたり、下の方を持ち ある		
荷のひとつひとつがなかなか重いので腰への負担がかかりそう。 ➡ 腰部への負担が軽減されるようなサポート器具など検討してみては		



©Resonac Corporation All Rights Reserved.

RESONAC

コミュニケーション　セイフティーコミュニケーションプログラム

2024年の実施結果

気づき

RESONAC

５月から１２月　３８件（８職場）

分類	件数	
設備の安全対策	１７件	・護岸の点検での昇降梯子の常設 ・浄化槽マンホールの蓋の腐食が気 ・作業スペースにで安全柵もないので ・超音波洗浄機の騒音が大きいと
作業の安全対策	７件	・袋のバラ積み貨物のデバンであり人 ・１バッグは10袋なので約20kg、上 ・最初の荷下ろしは、かなり高いとこ能性がありそうです
作業環境の改善	６件	・横浜側の天井に断熱材があった方 ・アプローチを砂利や砕石にするなど ・通路が狭いと感じました ・夏場は、汗びっしょりななると伺いまうでしょうか。
効率化・工夫など	８件	・台車が、もう少し高くても良いかも ・正味とkg　の印刷の間が狭くてス ・浄化槽の点検で何を見るのか、点 ・業務用の掃除機を使用していまし でしょうか

GoodPoint

RESONAC

５月から１２月　４１件（８職場）

分類	件数	良かった点として感想（Good　Point）
作業者・職場への感謝（ありがとう）	１６件	・ロット打ちが終わり、枚数を数える際には、軍手を替えていて、細やかな気配りをされて良いと思いました ・カッターナイフを使わない配慮がされています ・非定常作業シートの運用がさていました ・清掃時の転落災害防止のため、作業手順の検討がされています ・棚やロッカーの転倒防止対策がされてい
整理・整頓・清掃	６件	・ゴム印が整理され並んでいました ・テスト装置の裏までも清掃が行き届いています ・ヘルメットのラックが設置さでてい良い ・洗眼器の位置を示していた何処に有るかがわかりやす
業務の改善	８件	・梯子を固定する位置がマーキングされていて、毎回同じ位置で固定をすることができます ・梯子や工具を落とさない、紛失し内容の、ワイヤーで固定されていました ・ピーピーバンドを切るハサミが、使いやすそうです ・ハンコ組み立て方法の工夫をされていらっしゃったのは良いと思います ・ロープの切断に専用の治具が用いられていました。過去災害の水平展開が徹底されています
作業の安全配慮	１１件	・水中ポンプの交換作業時に、縄張りをすることになっている ・重量物であるマンホールの蓋を、治具を使って安全に（手を挟むのを防止）開け閉めがされていました ・危険予知を行い作業がされています ・荷崩れ、落下防止の対策がとられている

©Resonac Corporation All Rights Reserved. 4

©Resonac Corporation All Rights Reserved.

RESONAC

コミュニケーション　セイフティーコミュニケーションプログラム

改善事例 1 （階段の清掃作業）

【パトロールでの気づき】

- 掃除機用の電源コンセント位置を検討しはどうか。
- 業務用の掃除機を使用していましたが、階段で作業を行うのにリスクを感じました。
- 別の掃除機を検討できないでしょうか。
  ＊コードレス掃除機は、小石があり作業に適していないとのことでした。
- 普段はモップ掛けだけに変更してはどうか。
  （掃除機での掃除の回数を減らすだけでも、リスクをさげられるかと思います）

before

after

©Resonac Corporation All Rights Reserved.

RESONAC

コミュニケーション　セイフティーコミュニケーションプログラム

改善事例 2 （納品フレコンバックのデバンニング作業）

【パトロールでの気づき】

- 袋のバラ積み貨物のデバンであり人手で対応するしかない作業となっている。
- バラ積み袋で上の方に積んであるものが落ちてきて作業員にあたるリスクがある。
- １バッグは10袋なので約20kg、上の方から受けたり、下の方を持ち上げたりの腰痛リスクがある
- 荷のひとつひとつがなかなか重いので腰への負担がかかりそう。
  ＊ 腰部への負担が軽減されるようなサポート器具など検討してみてはいかがでしょうか。

before

after

©Resonac Corporation All Rights Reserved.

RESONAC

コミュニケーション　セイフティーコミュニケーションプログラム

改善事例 3 （非常用発電機の点検）

【パトロールでの気づき】

- 稼働時の音が大きいの、耳栓が必要ではないか。
- 音が大きいので、点検で起動する際は周囲の職場に事前連絡をした方が良い。
- 発電機の頭上に照明が無いが、夜間は暗くないか。

before

after

©Resonac Corporation All Rights Reserved.

RESONAC